

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



全国の24チームが激走

実業団女子駅伝予選会



▲宮地浜の鳥居を背景に1位で通過するユニバーサルエンターテインメントの鷲見梓沙さん

雲一つない秋晴れの天気の中、第1回プリンス駅伝予選会に催されました。第35回全日本実業団対抗女子駅伝への出場権を懸けた予選会です。昨年まで東日本、中日本、西日本で行われていましたが、今年から一本化され、北は北海道、南は鹿児島と全国から24チームが参加しました。宗像ユリックスを発着点に福津市を回る6区間42・195キロで激しい戦いが繰り広げられました。

激戦を制したのはユニバーサルエンターテインメントで、2時間17分2秒でゴール。全日本でも優勝候補と目されているチームで、2区で首位に立ち、3区以降はトップを譲らない走りでした。

観客は「テレビでは分からなかった息遣いなどを感じるので、迫力があります。本当に足が早いですね」と感動していました。

もしもに備えて

合同火災防衛訓練



▲暗闇の中で放水する消防団員

須多田区の辰ヶ鼻ため池周りで、合同火災防衛訓練が11月14日に行われました。もしもの事態に対処するためには、日頃の訓練を欠かすことができません。消防団や消防署などがお互いに協力し合い、消防車を複数台中継しながら、炎に向け放水しました。雨が降る夜間に行われた訓練に、吉田浩一消防団長は「厳しい状況にも関わらず、立派に訓練をやり遂げてくれました」と参加した消防団員をねぎらっていました。

笑顔あふれたみかん畑

認定農業者会のみかん狩り交流会



▲お父さんの手助けでみかんを取る壮真さん

内殿区のみかん畑で、11月3日にみかん狩りがありました。今年はおいしいみかんがたくさん実る「表年^{おもとし}」で、過去最高の1300人が訪れました。みかん食べ放題の会場内では、開始直後からお土産用のみかんを、たくさん抱える人たちであふれていました。

広報紙の記事を見てお父さんと参加した松村壮真さんは、今回が初めてのみかん狩り。自分で取ったみかんを「食べておいしい」と笑顔で語っていました。

楽しくも少し不安な初体験

福間中学校で巻きずし作り

中学3年生を対象にした巻きずし作り教室が10月23日、福間中学校で行われました。今年で5年目となるこの料理教室。弁当の日ができたことをきっかけに始まりました。



▲巻きずすでくるくると手際よく形を整える小林さん

生徒の小林拓海さんは黙々と挑戦し、完成した巻きずしを前に「切るときは不安でしたが、きれいにできて良かったです。簡単で楽しい」と喜んでいました。

指導に当たった食生活改善推進委員の宗岡浩子会長は「上手にできた自分を褒めて、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんにも作ってあげてほしい。そして、巻きずし以外にも、いろんなことに挑戦してほしい」と触れ合いを振り返って語っていました。

世界の目が古墳を見た

イコモスが新原・奴山古墳群を視察



▲説明を聞くイコモスの人たち

世界文化遺産の評価や審査に関わるイコモス(国際記念物遺産会議)の人たちが10月24日、福津市を訪れました。視察団は、市内にある昭和学園前の眺望所で、新原・奴山古墳群を遠くから眺めました。そして、県や市の世界遺産登録担当者の説明を熱心に聞き、質問をしていました。世界遺産登録に向け一歩前進です。

「いただきます」を考える

大和保育所で命の会



▲興味しんしんの子どもたち

市大和保育所で10月28日、「命の会」がありました。命の会は「食べ物の有り難みや命を頂くこと」を考える会です。この日は給食で出されている魚が、生き物から食べ物になっていく過程を見学しました。

この日の講師は魚屋さん。目の前で手早く料理される魚を見て「すごい」と歓声を上げていました。